

学校だより「強い子」第10号

3月号

校長 吉田 健太

⑤終わりよければすべてよし◎

6年生の卒業式まで、1年生～5年生の修了式まで、あとわずかな日数になりました。令和4年度がいよいよ「終わりの時」を迎えます。

子どもたち・保護者の皆さん・地域の皆さん・教職員のそれぞれにとって、今年度は、良い1年だったでしょうか。学校全体としてみれば、今年度は、令和2年度・3年度に比べるとコロナ禍で制限・制約に苦しめられることは減り、ほぼコロナ前の通常に近い教育活動を進めることができてよかったのですが、それに個別の思いはあるはずです。

●1人でも多くの子どもたちが「学校は楽しい。できなかったことができるようになるのはうれしい。」と感じ---、

●1人でも多くの保護者の皆さんが「学校は子どもを安心してまかせられる。我が子の成長がうれしい。」と感じ---、

●1人でも多くの地域の皆さまが「子どもたちの元気な笑顔や声で地域も元気になる。学校を支えたい。」と感じ---、

●1人でも多くの教職員が「学校は魅力ある充実した気持ちになれる職場である。精一杯、頑張りたい。」と感じる。

---そんなことを願ってやみません。そのために校長としてどれくらいプラスの働きができた1年間だつただろうか。さまざまなことを振り返ってみては自問自答する今日この頃です。

そんな「終わりの時」を迎える時期なので、先日、全校集会で子どもたちに、「終わりよければすべてよし」という話をしました。元々はシェークスピアという昔のイギリスの劇作家が書いた劇の題名らしいのですが、今では、ことわざ的につかわれることが多いです。子どもたちに伝わるようにと思って話したので少々ざっくりとした説明ですが、---「終わりの時」を「良い感じ」にすごすことはとても大事。「終わりの時」を「良い感じ」にすごすことができれば、これまで失敗したことや上手くいかなかったことをいつまでもくよくよと気にするのはやめておこう。---そんな意味でつかわれると話しました。

「終わりの時」を「良い感じ」にすごす。では、「良い感じ」は自分にとってどのようなすごしかたなのか。この時期を考える機会にできればいいなと思います。例えば、全校集会で子どもたちにお願いした「良い感じ」としてあげたことは---

■元気に笑顔ですごす。■気持ちの良いあいさつをする。■授業を頑張る。■わがまま言わずに思いやるの4つです。特にさいごの1つは強調しました。自分の気持ちばかりはよくない。まわりの人の気持ちを考えないのはよくない。友達であっても、先生であっても、お家のあつても、自分と関わる人を優しい気持ちで大切にできる。これはとても大事。あなたが優しい気持ちで大切にすれば、相手もきっと優しい気持ちで大切にしてくれる。そのように重ねて話をしました。

この1年間の子どもたちのようすを振り返ってみると、自分の気持ちを優先して、まわりの人の気持ちを考えない言動が、目立つ場面もありました。成長過程にある子どもたちなので、そんな言動があつても当然なのですが、終わりよければすべてよし。ぜひ、「終わりの時」は、自分と関わる人を優しい気持ちで大切にしてすごしてほしいと思います。

◎そして「春」を迎えます◎

年度末の「終わりの時」が一段落すると、次はいよいよ「春」の到来です。姫島小学校の運動場の幼稚園側の角には、毎年、見応えのある花を満開にさせる桜の樹があるのですが、日に日につぼみが少しずつですが膨らんでいます。卒業式には間に合いそうにありませんが、1週間後の修了式には開花しているかもしれません。1年生がプランタに植えているチューリップも球根からすぐすくと茎を伸ばし、同じ頃に大きな花を開かせ始めそうな気配です。

この学校だよりとほぼ同じ日に発行される PTA 新聞の原稿に書いたことなので重なってしまうのですが、「春」はすべての子どもたちにとってステップアップの時です。進級と進学です。それそれが前向きな意欲を胸にステップアップの時をすごせますように。春休みの助走期間を経て、それそれがしっかりと力を込めて力強く第1歩を踏み出してくれますように。

新しいクラス。新しい担任の先生。教室の場所もつかう教科書も新しくなります。今年度のクラスと担任の先生とはお別れです。出会いと別れ。それもまた「春」のできごとです。

毎年、「春」になると思い出す、大正末期から昭和初期にかけて活躍した童謡詩人、金子みすずさんの「星とたんぽぽ」という詩があります。有名な詩なので、知っている人も多いと思いますが----

青いお空のそこふかく、海の小石のそのように、
夜がくるまでしづんでる、昼のお星はめにみえぬ。
見えぬけれどもあるんだよ、見えぬものもあるんだよ。

ちってすがれたたんぽぽの、かわらのすきに、だあまって、
春のくるまでかくれてる、つよいその根はめにみえぬ。
見えぬけれどもあるんだよ、見えぬものもあるんだよ。

「春」は、新しい人生の始まりをあらわし、我慢や苦労が報われて花開く、朗らかで温かい幸せな気持ちで満たされる。そんなイメージの言葉でもあります。---とも PTA 新聞に書きました。

はっきりと見えないものではあるけれど、それに確かな可能性と明るい希望があるにちがいないと信じて、「春」を迎えてすごしたいです。

◎3月終わりから4月はじめにかけての主な学校行事◎

3/15 (水)	卒業式予行	9:30~11:00 本番と同じ時間、同じ内容で実施して最終確認します。
3/16 (木)	卒業式準備	これに伴い、1年生~4年生と6年生は、5限終了後の 14:30 すぎ下校 5年生のみ6限に準備作業をお願いします。
3/17 (金)	卒業式	6年生児童 8:45~8:55 に登校 参列保護者 9:00~9:15 に受付 卒業生入場 9:25
3/23 (木)	給食最終日	
3/24 (金)	修了式	11:30 頃下校
3/25~4/9	春季休業	
4/ 6 (木)	入学式準備	新6年生 8:50 登校
4/ 7 (金)	入学式	

新年度はマスクの着用ほか感染症対策が大幅に緩和されます。入学式から地域来賓の参列を再開します。新学期のマスクのあつかいについては市教委からの通知がありしだいお伝えします。

卒業式

参列保護者の皆さまはマスクの着用にご協力ください。卒業生は近い距離で発声・歌唱がある場面のみ着用を求めることがあります。席は1家族1脚の割り当てです。過密を避けるために1家族2名までお願いしていますが、ご事情により1脚の範囲で参列人数を増やしたいという場合はご相談ください。